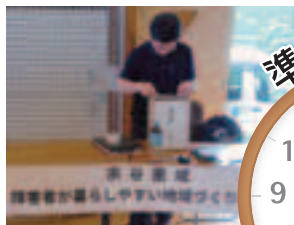


ふれあいネットワーク 社協だより稚内

第195号
令和7年10月1日
発行

社会福祉法人 稚内市社会福祉協議会

〒097-0024 稚内市宝来2丁目2番24号 / TEL 0162-24-1139 / FAX 0162-24-1159
ホームページアドレス▶<http://www.wk-syakyo.or.jp> メールアドレス▶wakkanai@wk-syakyo.or.jp

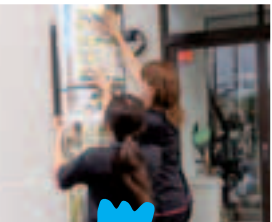


各々のブースをセッティング!! さあ! いよいよですよ!!



8月24日(日)市内北コミュニティセンターを会場に今年も「ふくしのお祭りin北地区」を開催しました。地域住民の方を中心に150名余りの方にご来場いただきました。

ふくしのお祭り 開催される



開催!!



受付にたくさんの人々が!



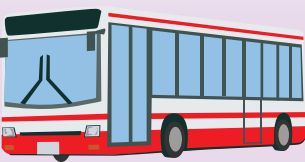
瀧会長より開催の挨拶



続きは10ページ

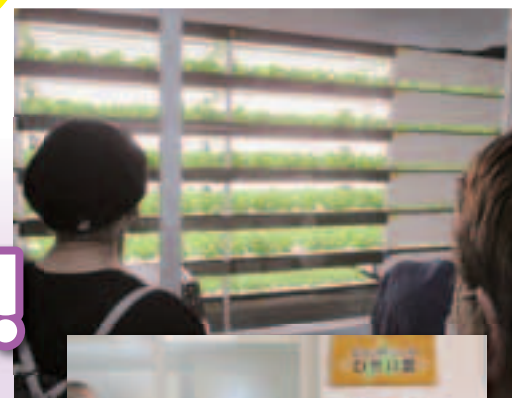


この事業は、赤い羽根共同募金より助成を受け実施しています。



さあ!! 富士見園に 出発ッ!!

社会福祉法人 稚内福祉会のご協力にて、福祉施設の見学をさせていただきました。



就任挨拶

稚内市社会福祉協議会

会長 瀧 勝彦

この度、令和七年六月二七日に開催されました理事会におきまして杉本宏前会長の後任として第十四代目の社協会長に就任いたしました。

社協会長として責務を全うするためには、二名の副会長を始め、理事の皆さんや評議員の皆さん関係者の皆さんにお知恵を貸していただきながら、地域福祉の充実と発展のために、努めて参る所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、地域を取り巻く環境が日々変化する中で、様々な原因による収入の減少、住居の維持の困難化など生活に困窮する人びとの急増、社会性の低下による身体機能の低下、子どもの貧困、社会的孤立など、複雑かつ多様な生活・福祉課題の顕在化につながっています。それら、生活課題に対応していくためには、誰もが支えられている、つながっているという、「地域のつながり」が必要となります。

社協は、地域福祉を推進する中心的な団体として、誰もが役割を持って地域を支える一員となれるよう、地域での居場所や交流拠点、人と人とのつながり、地域の見守り・支え合い活動を推進するとともに、引き続き、当事者を含め町内会や民生委員・児童委員、ボランティア、福祉関係者、社会福祉法人などがつながることで、「共に生きる豊かな地域社会づくり」を推進して参ります。

皆様の信頼と期待に応えられるよう地域福祉の向上に努めて参りますので、皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げ、会長就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

理事・評議員の紹介

会長 瀧 勝彦

副会長 小 瀧 勝彦

常務理事 藤 川 文 彦

理事 遠 藤 直 仁

評議員 山 田 勝 彦

監事 石 内 和 彦

評議員 丸 山 泰 和

評議員 山 田 勝 彦

評議員 山 田 勝 彦

評議員 山 田 勝 彦

評議員 山 田 勝 彦

評議員 山 田 勝 彦

令和七年八月三十一日現在
(敬称略・順不同)

赤い羽根共同募金にご協力を!

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。みなさまからの募金は地域福祉活動を行うための大切な財源となります。今年もあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

【運動期間】 10月1日
12月31日

今年度目標額 4,800,000円

昨年度実績額 4,718,037円

募金の使い道

1. ふくしのお祭り開催
2. 福祉団体等への助成
3. ふれあいランチ事業
4. 社協広報紙の発行

区 分	金 額
戸別募金(町内会)	2,560,484円
業 種 別 募 金	1,121,000円
街 頭 募 金	343,770円
個人・団体・その他の募金	692,783円



Art by じゅん・kaminoto © Crypton Future Media, INC. www.paparo.net 0904019



QRコードを読み込むと、北海道共同募金会のホームページが閲覧できます。

歳末たすけあい募金運動

【運動期間】 12月1日
12月31日

今年度目標額 4,600,000円

昨年度実績額 4,506,453円

募金の使い道

1. ひとり暮らし老人等への除雪サービスの実施
2. 歳末見舞金(まごころ)の配布

区 分	金 額
戸別募金(町内会)	2,570,679円
団 体 募 金	1,547,142円
街 頭 募 金	341,132円
職 域 募 金	24,000円
個人・その他募金	23,500円

【目 的】対象となる世帯の方々が、少しでも温かいお正月を迎えることができるよう、市民からの善意『歳末たすけあい』を財源として「歳末見舞金(まごころ)」を交付いたします。

【対象世帯】①障がい児・者が在宅している世帯
②義務教育終了前の児童・生徒を養育しているひとり親世帯 ③70歳以上の高齢者のみの世帯

●上記①～③いずれかに該当した上で、市民税が非課税世帯であることが条件となります。

【対象とならない世帯】生活保護受給世帯・入院、施設入所の場合・非課税世帯であって、各種年金の収入も含め、世帯収入合計が単身世帯で100万円以上、複数世帯は定額150万円以上(1人増える毎に50万円加算)である場合。

【添付書類】●令和6年度市民税・道民税・所得課税証明書(写) ●障がい者世帯は、障害者手帳(写) ●ひとり親世帯は、住民票等の世帯全員がわかる書類(写) ●③は住民票(写) ●各種年金・児童扶養手当等その他収入がある場合は、受給額のわかる書類(写)

【申請方法】右記「歳末見舞金(まごころ)交付申請書」に必要事項を記入し関係書類を同封ください。

【受付期間】令和7年10月8日(水)～令和7年11月7日(金)

【配分決定】提出書類にて審査の上、対象者へ郵送で支給の可否を報告します。

【支給額】歳末たすけあい募金を財源に、予算の範囲内で決定します。

【支給時期及び方法】審査後、申請書に記載された口座振込または当協議会窓口での受け取りとなります。

【提出先】
〒097-0024 稚内市宝来2丁目2番24号
稚内市社会福祉協議会総務課 電話24-1139

「歳末見舞金(まごころ)」交付いたします

令和7年度 歳末見舞金(まごころ)交付申請書

稚内市社会福祉協議会会長 様

1. 世帯主氏名 2. 生年月日 3. 住 所 4. 電 話 番 号 5. 世 帯 構 成

6. 対 象 (該当世帯へ☑をしてください)

7. 添 付 書 類 (欄に無い場合は下記へ記入 ※該当箇所へ☑をしてください)

※この個人情報とは、歳末見舞金交付事業のみ利用いたします。

申請をする場合は、上記申請書を切り取って事務局まで送付又はご持参ください。

あたたかい善意ありがとうございました

金銭預託

令和7年6月1日～令和7年8月31日(敬称略)

氏 名	金額(円)	寄 付 先	寄 付 理 由
匿名	500,000	社会福祉基金	福祉のために役立てて欲しい
平岡 祥孝	38,200	愛情銀行	福祉のために使って頂きたい
稚内大谷高等学校 生徒会	14,000	愛情銀行	学校祭の模擬店の売上金額を福祉のために役立てて欲しい
敦賀 基行	50,000	居宅介護事業	亡き父が生前お世話になり、居宅介護事業に役立てて欲しい

税法上の特典

寄附金については、確定申告によって税法上の優遇措置を受けることができます。

個人情報保護について

掲載している、個人・企業名等については、寄付者にあらかじめ、氏名等の掲載について、ご了承を得ております。

ひとり暮らし老人等 除雪サービス事業はじまります

【注 意】

このサービスは、生活通路以外の屋根や駐車場等の除雪はいたしませんので、屋根や駐車場等の除雪は市内建設業者等除雪してくれる業者へご相談下さい。

【内 容】

登録条件：65歳以上の独居老人世帯、老人夫婦世帯、60歳以上の虚弱者・障がい者世帯。
上記の方で、お近く(市内)に除雪してくれる身寄り(息子・娘等)のいない方、もしくは支援をしてくれる方がいない世帯で、除雪が自力では困難な方。
登録方法：登録をご希望の方は、お住まいの地区の民生委員児童委員さんへご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

稚内市社会福祉協議会 地域福祉課
電話24-1139



社協会費中間報告

令和7度中間実績額

3,262,124円

住民会費	1,897,124円
特別会費	229,000円
団体会費	146,000円
法人会費	990,000円

※令和7年8月31日現在の実績額です

年金のお受け取りは **しんきん** で

あなたの大切な年金は、ぜひ便利な当金庫の年金自動受取をご利用下さい。



こころのかよう

稚内しんきん

理事長 増 田 雅 俊

本 店 ☎23-5131
南 支 店 ☎23-5141
北 支 店 ☎23-4371
東 支 店 ☎32-3651
富岡支店 ☎33-5151

鬼志別支店 天 塩 支 店 札 幌 支 店
浜頓別支店 遠 別 支 店 清 田 支 店
枝 幸 支 店 利尻富士支店 琴 似 支 店
雄 武 支 店 利 尻 支 店
中頓別支店 礼 文 支 店
歌 登 支 店 旭 川 支 店
豊 富 支 店 神 居 支 店
幌 延 支 店 末 広 支 店





この「ふくしのお祭り」は見て・聞いて・体験して、悩みごとや困りごとを解決するお手伝いができればという新たな福祉のイベントとして昨年より引き続き開催しております。

当日は「介護等の相談や「福祉ネイル体験」「スマホ相談会」「手話体験」そしてワークショップでは「爪楊枝細工」など、様々な相談や体験をしていただくことができました。

この事業は市内の福祉事業所や福祉サービスなどを身近に知っていただくための事業として来年も継続して実施したいと考えておりますので、その時は是非ご来場ください。

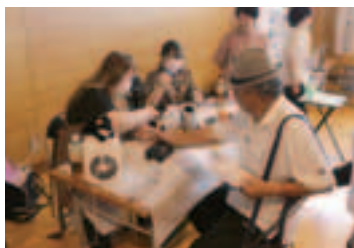


ふくし の お祭り

in 北



ご来場いただいたお客様、ご協力いただいた関係者様、本当にありがとうございました。



この事業は、赤い羽根共同募金より助成を受け実施しています。

